

令和2年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子

ねばり強く取り組む子 思いやりのある子 命を大切にする子 地域に愛着をもつ子 社会への視野を広げる子



四季の森

6月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>



自分も相手も大切にする、思いやりのある子を育てます

校長 笹原 洋子

いよいよ、四季の森小学校での令和2年度の学校生活を始めることができるようになりました。これまでの数か月間、ご家庭での教育、どうもありがとうございました。子どもたちはそれぞれの場で、様々な力を身に付けたことと思います。それでも、教科学習については難しかったのではないかと思います。本校の教員の中には「家で自分の子どもに勉強を教えようと思っても、うまくいかない。」とこぼしている教員がいました。また、「自宅でTVや動画等で学習をさせようと思っても、子どもは見続けることも難しい。」という声も聞きました。改めて、子どもたちは同年齢の集団の中で、「先生」という親とは違う立場の大人とコミュニケーションをとることで、社会性や知識を身に付けやすくなるのだと感じました。ご家庭でお子様が学習課題に取り組むサポートや、丸付け等、心より感謝いたします。

さて、これから始まる学校生活は、まだまだ新型コロナウイルス感染防止に努めながらの教育になります。しかし、学校は集団で学ぶ場です。この状況の中で、できる限りの感染防止の対策を行い、子どもたちにも指導していきます。また、ご家庭でやっていただきたい感染防止対策もあります。別紙でお知らせしますので、ご理解、ご協力いただけますようお願いいたします。

具体的な感染防止対策以外に、今、学校で大切にしたいことが2つあります。

まず1つは、一人ひとりの子どもの心です。「新型コロナウイルス」という見えないものにどう対処したらよいのか、不安を抱えていると思います。また、今までと違う生活を強いられ、ストレスや違和感を感じ、中には何らかのSOSを発している子どももいるかも知れません。担任が子ども達の話聞き、すべての教職員で子ども達の様子をしっかり見守っていきます。心配なことのある保護者の方は担任へお知らせください。地域の方々も、地域の子どもの様子でお気付きのことがございましたら、ぜひ、学校にもお声を寄せいただきますようお願いいたします。

もう1つは、子ども達に「自分も相手も大切にする、思いやりの気持ち」を育てることです。今の状況の中で、どのような行動をとることが本当の思いやりになるのか、子ども達と一緒に考えていきます。自分も相手も大切にするなら、どんな行動をしたらよいのか、今の言動は誰かを傷つけていないのかなどを、繰り返し問いかけます。教師が一方的な指導をするだけではなく、子ども達にじっくり考えさせることで思いやりの気持ちを育てていきたいと考えています。

